

石は、ころがる　ころがる

ニンサクさんは　石をおっかけ、

どんどん　どんどん　かけおりて行った。

ゴロン　ゴロン

ゴロン　ゴロン

ドス——ン。



「よいしょ　　よいしょ

よいしょ　　よいしょ。」

汗あせをかきかき、

山やまの上うへまで、石いしを持もってかえった。



次は、坪井村の

ニンサクさんの番だ。

「了屯なんか

まけるもんか。」

「えーい、

や———」。

